

や ま だ ん の

# 山田野

独立行政法人  
国立病院機構 北陸病院  
〒939-1893 富山県南砺市信末5963  
TEL 0763-62-1340 FAX 0763-62-3460

## 年頭のごあいさつ



新年あけましておめでとうございます。皆さまには健やかに新年をお迎えのこととこころよりお慶び申し上げます。

さて、北陸病院では今春に待望の新しい精神科病棟が開設いたします。精神科の入院医療においては、病棟構造自体が大きな治療的役割を果たしており医療の質をも左右すると言われています。新病棟では、個室を増やすとともに一人当たりの空間を広くして個々人の病状に応じた部屋を選びやすくなります。そして入院への早期適応を補助し、対人ストレスの軽減から病状の早期回復が望まれるばかりでなく、スタッフの治療技術に影響を与えて薬物療法や入院処遇の向上にもつながるでしょう。このように当院における精神科医療の良質化も期待できるものと考えています。さらに年内には、神経難病病棟や重症心身障碍病棟の建て替え工事が始まり、来春には各々10床を増やした新病棟の開設が予定されています。そこではリハビリ機能や療養介助の強化など個々人の特性に合った医療内容の充実および総合的な再検討が必要とされるでしょう。国から委託された医療観察法病棟も今年開設9年目を迎えて、その蓄積した医療実績から一般精神医療の発展に寄与するための情報発信も求められており、その負託に全ての職種がしっかりと答えたいけるようにと考えています。

次に、社会的な動きとしては4月には改正精神保健福祉法が実施されます。1900年精神病者監護法成立以来続いた保護者責任の撤廃がなされ、入院時から退院促進の取り組みが必要とされ、厚労大臣の指針により急性期医療や在宅医療を重視した機能分化が求められます。当院でもその対応が重要課題となっており、これ

まで以上に利用者の思いに寄り添った医療を目指したいと思います。また、昨年から始まった「認知症施策推進5か年計画(オレンジプラン)」では認知症疾患医療センターの機能として、地域関係機関との密な連携をもとに、認知症の早期診断・早期支援や認知症に伴う精神症状などへの危機回避支援などが求められています。当院センターにおいても機能をより充実させることで地域における認知症の人や家族の方々の支援を一層進めてまいります。

それらにも増して私が重要と考えているのは、「生命と人権を尊重し、思いやりに満ちた医療を良心と誠意を持って実践する」という基本理念を全ての職員ひとりひとりが自分のものとして実現をめざします。そのためには、心身両面にわたる医療技術の向上が必要であり、清水寺での年末の風物詩ではありませんが(昨年は『輪』)、日々の心構えを一字で現わすならば、『恕』相手の身になりその人の痛みがわかることではないかと考えています。そして互いを思いやる形としてはまず挨拶、声を掛け合うこと、丁寧な言葉遣いや笑顔など、今すぐにでも始められる簡単なことが大切ではないかと思っています。そうして地域から信頼され安心していただける良質な医療を提供できるように、日々不断の努力を怠らないことで職員皆が仕事に誇りを持てるよう努めたいと考えています。

最後に、皆さまにとりまして幸多い年となりますように祈念しまして、年頭のごあいさつといたします。今年もあたたかいご支援とご助言をこころよりお願い申し上げます。

(院長 坂本 宏)

# 認知症疾患医療センター報告

当センターは富山県の委託事業として一年の準備期間を経て、H24年4月より活動しています。

その役割としては、主として次のようなことがあげられます。

- 認知症患者とその家族が住み慣れた地域で安心して生活するための支援機関の一つ
- 専門医療機関として他の医療機関や相談機関、行政等と連携を取りながら相談に応じる
- 認知症に関する知識や技術の向上を目的とした研修会等の企画と開催
- 関係機関からの要請で講師派遣
- 地域包括支援センター等の事業協力(地域アドバイザー派遣事業)

具体的な活動としては、

- 初診前の相談をはじめセンター事業に関する色々な問い合わせに応じています。  
窓口として医療社会事業専門員(精神保健福祉士)2名が担当しています。
- 「認知症疾患医療センターミーティング」毎月開催しています。
- 「認知症疾患医療センター医療連携協議会」年一回開催しています。
- 随時、院外・院内研修会の開催を企画し、医師などが講演もしています。
- 啓蒙活動として当院の職員による劇団「やまだん野」公演を行っています。
- 地域アドバイザー派遣事業に参加しています。

※認知症疾患医療センターミーティングは多職種のメンバーで構成されています。

〔医師(院長、センター長(神経内科医 統括診療部長)、精神科病棟医長2名、内科医長)、  
看護師(副総看護師長、病棟師長、外来師長、病棟看護師)、心理療法士、管理栄養士、  
医療社会事業専門員3名(精神保健福祉士) 専門職(事務)〕

このメンバーでそれぞれの立場から初診診断等の検証、広報活動・研修会について報告、運営上の問題や今後の方向性等についての話し合いをしています。

※劇団「やまだん野」は、家庭でよくみられる認知症の症状や認知症に対する対応の仕方などを寸劇でわかりやすく演じています。

※色々な会議、事業に参加し、地域との連携を図っています。

初回受診から診断、治療までのプロセスを具体的に説明しましょう。

## 《初診前相談》

受診相談の電話・面接、受診依頼の電話・FAXなどを受けます。その時次の様なことを判断します。

- ①受診目的の把握
  - ②情報収集(症状、病歴、ADL、環境)などをお聞きします。
  - ③かかりつけ医の有無:かかりつけ医があれば紹介状を依頼します。
  - ④当院の専門外の疾患を疑うような症状があれば、他病院の専門外来受診を勧めます。
- この後、症状や受診目的に応じた専門医(神経内科・精神科)の予約をします。

## 《鑑別診断・治療方針の選定》

- 認知症かどうかの診断をします。**早期診断が大切です。**
- 認知症のタイプの診断をします。その結果適切な薬物を選択します。  
※診断のための検査(脳の精査、心理検査など)  
※今後予測される症状や変化の説明をし、家族の心構などを指導します。
- 認知症に伴う周辺症状(妄想・徘徊・不眠・夜間せん妄・介護抵抗・暴力など)の治療、及び周辺症状に対する対応方法のアドバイスをします。場合によっては**入院治療も考慮**します。
- 家族の心理面のフォローをします。
- 社会資源の活用方法(関係機関窓口)を紹介します。
- 栄養指導
- 当院デイケアの活用などもしています。

## 平成24年度(平成24年4月～平成25年3月)集計

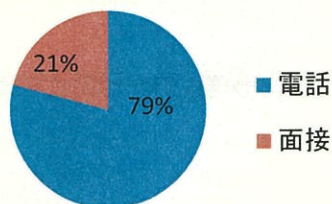
初診前相談 531件(電話:456件 面談:75件)

初診後相談 2,250件

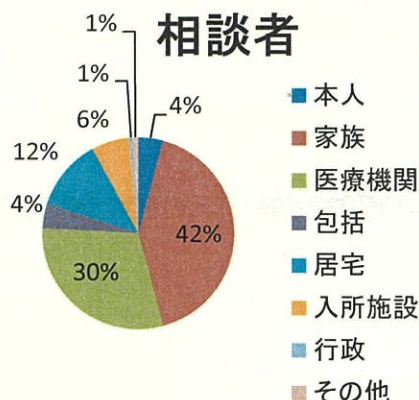
鑑別診断 199件

入院患者数 51名 退院患者数 49名

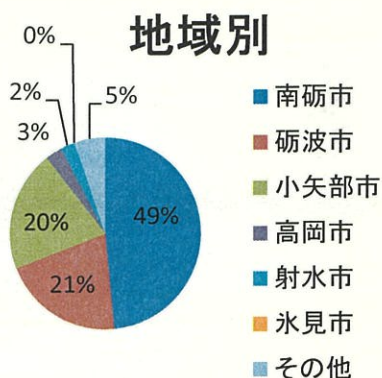
### 相談手段



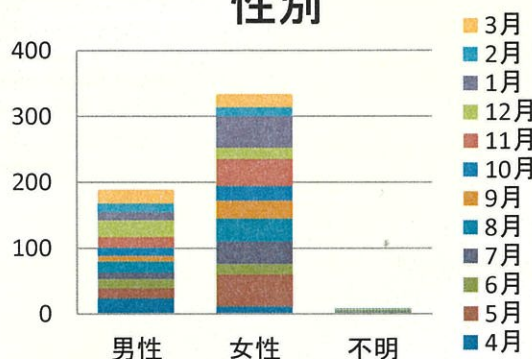
### 相談者



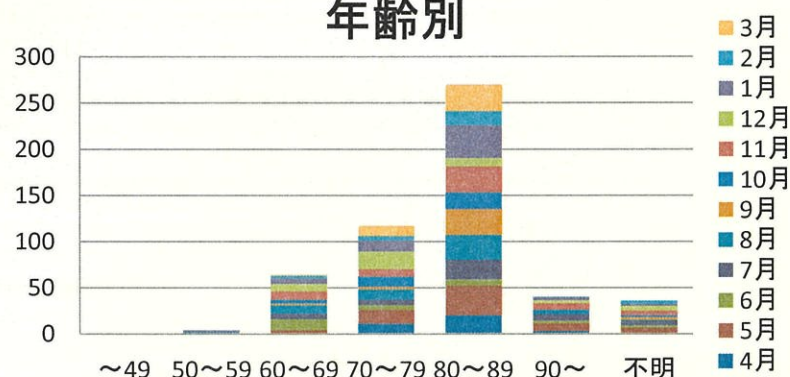
### 地域別



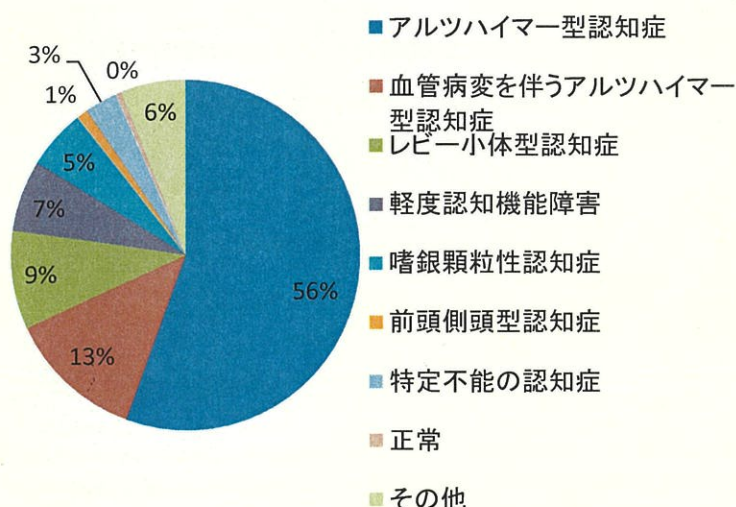
### 性別



### 年齢別



### 鑑別診断・病名別



平成25年度もほぼ同様な状態で推移しています。

最近では、認知症の予防、早期発見が大切であると言われています。

「物忘れがちょっと心配」という段階でも当センターにご相談下さい。

また、日常生活に支障が出てきた場合、患者様・ご家族が見通しを持って対応できるように援助します。地域でのサポートについても助言できると思います。

お気軽にご相談ください！

## 外来担当医表

| 項 目      | 月                                                                                                         | 火     | 水     | 木     | 金     |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|-------|-------|
| 精神科（初診）  | 市川・坂本                                                                                                     | 坂本・市川 | 白石・坂本 | 石崎・池田 | 細川・白石 |
| 精神科（再診）  | 石崎・松原                                                                                                     | 白石・池田 | 村田・松原 | 市川・大平 | 池田・大平 |
| 神経内科     | 吉田                                                                                                        | 小竹    | 吉田    | 吉田    | 小竹    |
| 内 科      | 戸部                                                                                                        | 渡辺    | 戸部    | 清澤    | 戸部    |
| 睡眠外来（初診） |                                                                                                           |       |       | 細川・戸部 |       |
| 睡眠外来（再診） |                                                                                                           | 細川    | 戸部    |       |       |
| 専門外来     | もの忘れ パーキンソン病 認知行動療法 重症心身障害<br>① 認知症セカンドオピニオン（吉田）<br>② 精神科薬物療法セカンドオピニオン・クロザピン使用について（白石）<br>③ 遺伝カウンセリング（小竹） |       |       |       |       |

●診察は完全予約制となっております。地域医療連携室にご相談ください。

●受付・診療時間・・・8：30～11：30

【地域医療連携室 直通電話】 0763-62-1950

## 禁煙外来 準備中

現在精神科病棟の新築工事が進んでいます。4月には引っ越し予定です。新しい病棟になるのを機会に院内、敷地内禁煙とすることになりました。4月に急に禁煙するのも難しいと考え、2月1日から実施します。ついては、禁煙サポートができればと考え、禁煙外来を開設することになり、準備に入っています。

喫煙者の70%はニコチン依存症です。タバコをやめられないのは、あなたの意志の弱さではなく、ニコチンのもつ強い依存性が原因です。このような喫煙習慣は「ニコチン依存症」といわれ、治療が必要な病気とされています。病気は意志の力だけで治せるものではありません。禁煙成功のために、「**お医者さんと禁煙**」を始めませんか？

お医者さんと禁煙すれば、あなたに合ったアドバイスを受けられるほか、禁煙の治療薬を処方してもらえるので禁煙の成功率が高まります。

一定の要件を満たすことで、禁煙治療に**健康保険等が適用**され、あなたの負担も軽くなります。健康保険等を使った禁煙治療では、**12週間で5回**の診察を受けます。

当院では医師以外に看護師、薬剤師、検査技師、心理療法士、管理栄養士などがチームを組んで禁煙を援助する予定です。まずは入院中の患者様、外来患者様、勤務している職員の禁煙が必要でしょう。禁煙の予告はかなり前からしていますが、どうなりますか。ちょっと不安です。昨今、喫煙者にとってはなかなか住みにくい社会情勢です。今まで禁煙に何度も失敗した人、これから禁煙に挑戦しようとする人。禁煙外来が正式に開設されましたら、一度御相談下さい。（精神科医師 石崎恵子）

## 【交通アクセス】

- ◆交通機関  
JR 城端線、城端駅より、タクシーで約5分
- ◆高速道路  
東海北陸自動車道、福光ICより約5分
- ◆南砺市コミュニティバス  
JR 城端駅・福光駅より出ています



独立行政法人 国立病院機構 北陸病院

〒939-1893 富山県南砺市信末 5963

TEL 0763-62-1340 FAX 0763-62-3460

ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~hokuriku/>

【編集・発行】 北陸病院

【広報担当】 石崎・宮嶋・前田